

教科名 (科目名)	保健体育 保健	履修学年	1 年	学科	普通・フロンティア 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		1	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	・現代社会と健康について課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	・現代社会と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	・現代社会と健康について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする姿勢が見られる。
評価方法	・ペーパーテスト ・知識の概念的な理解を問う問題	・ペーパーテスト ・論述やレポート、スライドの作成 ・発表、グループでの話し合い	・授業中の発言等 ・教師による行動観察 ・ノートやレポート等

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

教科書「現代高等保健体育」大修館書店
副教材「現代高等保健ノート」大修館書店

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

- ①授業内容によっては、視聴覚教材を活用します
- ②授業は、各教室にておこないますが、実習を伴う授業の場合は、教室以外を使用することもあります
- ③保健のノートは定期的に点検します。毎時間の復習をかねて着実に整理しましょう
- ④健康問題について、保健の授業を通じて深く関心を持ちましょう

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学期	4月	1. 健康の考え方と成り立ち	○単元テスト（内容が理解できているかの確認） ○実習の技能（内容を理解した行動ができていないかの確認）	○単元テスト（思考力や、表現力を問う問題） ○論述やレポート、スライドの作成 ○授業内での発表やグループ内での話し合い	○授業中の発表内容等 ○ノートやレポート
	5月	2. 私たちの健康のすがた			
	6月	3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防			
	7月	5. がんの治療と回復 6. 運動と健康			
		※応急手当 (心肺蘇生法の実技)			
2 学期	8月	7. 食事と健康	○単元テスト（内容が理解できているかの確認） ○実習の技能（内容を理解した行動ができていないかの確認）	○単元テスト（思考力や、表現力を問う問題） ○論述やレポート、スライドの作成 ○授業内での発表やグループ内での話し合い	○授業中の発表内容等 ○ノートやレポート
	9月	8. 休養・睡眠と健康 9. 喫煙と健康			
	10月	10. 飲酒と健康			
	11月	11. 薬物乱用と健康 12. 精神疾患の特徴			
	12月	13. 精神疾患の予防			
3 学期	1月	14. 精神疾患からの回復	○単元テスト（内容が理解できているかの確認） ○実習の技能（内容を理解した行動ができていないかの確認）	○単元テスト（思考力や、表現力を問う問題） ○論述やレポート、スライドの作成 ○授業内での発表やグループ内での話し合い	○授業中の発表内容等 ○ノートやレポート
	2月	15. 現代の感染症 16. 感染症の予防			
	3月	17. 性感染症・エイズとその予防 18. 健康に関する意思決定・行動選択			